

愛され続ける高機能コンパクトな地域医療の拠点

新病院 運営
ハードとソフト両面の
バランスが取れた計画

ワンフロア外来による
機能的で合理的な計画

設計要望や将来の変化に
柔軟に対応可能な計画

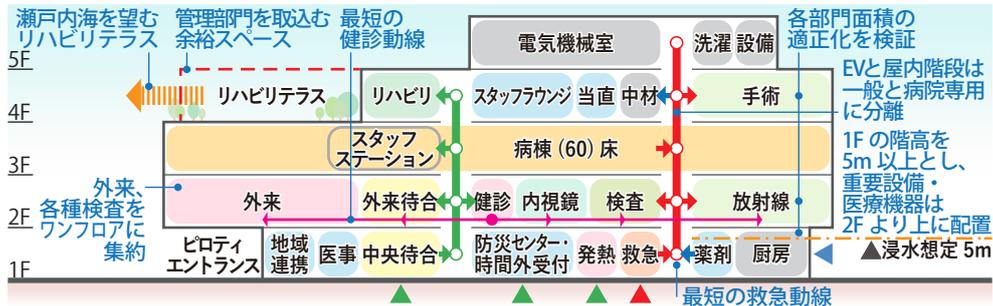
地域に開かれた、誰もが訪れやすい安心・安全なアプローチ計画

- 歩車分離を徹底し、一般車と救急車、サービス車の各動線を明確に分離した、安心かつ安全なアプローチ計画とします。
- 敷地東西を貫く明るいピロティを設け、地域に開かれたエントランスを計画します。
- ピロティ内には雨に濡れない車寄せとタクシー待機スペースを設置し、エントランスの近くに利用しやすい、思いやり駐車場を配置します。
- 救急車は敷地北側を通行し、安全な動線と待機スペースを確保します。



二次救急に対応する、高い機動力を確保

- 救急部門は隣接する病院専用 EV で関連部門と直結し、迅速かつ安全な搬送を実現します。
- 1 階の救急・発熱外来、2 階の放射線・検査、3 階の病棟、4 階の手術部門を最短動線で結びます。
- EV と屋内階段を各 2 ヶ所設置し、一般用と病院専用を分離して、利便性を向上します。



自然環境を活かし、省エネ・高効率を実現

- 安芸津の環境特性を踏まえた自然エネルギーの活用により、中間期の自然通風の取込みや、適切な自然採光、屋上緑化を検討します。
- エネルギー消費とランニングコストの低減を図るため、建物の高断熱化や Low-E 複層ガラス、高効率・省エネ設備機器を採用します。
- 維持管理に配慮した建築材料を採用し、メンテナンスコストを削減します。

あらゆる災害から人命と医療機能を守り、円滑な災害医療に対応

大地震時にも使用可能な構造計画

- 耐震性能は II 類とし、大地震後も構造体の大きな補修をせず、継続使用を可能にします。
また、設備などの 2 次部材の耐震固定を徹底し、重要機能の維持と早期復旧を担保します。

72 時間の BCP 対応を検討

- 災害時の診療継続のため、電気・水・医療ガス・通信等のライフラインを 3 日間維持するバックアップ体制を検討します。
- 非常時に迅速な対応をするため、継続利用・早期復旧すべき事業・部署の優先順位を、丁寧な打合せにより明確にします。

段階的な浸水対策

- 高潮と洪水による 5m の浸水対策として、重要な設備・医療機器は 2 階以上に配置し、医療機能を継続させます。
- その他の出水には、1 階床レベルを西側県道より 50cm 以上高く設定した上で、1m 程度の防水板設置により、浸水を防ぎます。